

レガシーってなあに？

～掲示コーナーの工夫～

カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)

校種	小	中	高	特	学年等	全学年	参加対象	児童	家庭地域	教職員
教科等	全教育活動					時期・時間	通年			

1 プログラムのねらい

- オリンピック・パラリンピックに関することや、ラグビーの話題を掲示することで、全校児童の興味・関心を高める。
- 学校の歴史等も掲示することで、愛校心を育てるとともに、長い年月を積み重ねて、伝統が続いていることを理解する。

2 準備等

- 資料（オリパラ・ラグビーの旗やポスター、これまでの授業に関する写真等）
- 掲示用フレーム ○壁掛け用フック

3 取組の概要

1 オリパラ・ラグビーコーナーの設置

- ・学校のどこにコーナーを作成するか検討する。（職員会議等で共通理解を図る。）
- ・全校児童等、多くの人の目に触れる場所に設置する。

2 資料の収集・整理等

- ・これまでの授業等の様子を対象とする。
- ・授業後の児童の手紙や感想をコピーしておきその時の気持ちがわかるようにする。
- ・図工や総合的な学習の時間等や、クラブで取り組んだ伝統文化的な活動に携わる実践等も対象とする。

3 掲示の準備

- ・集めた資料を整理しながら、掲示していく。

【実際の掲示の様子（秩父第一小廊下）】

4 様々な資料の掲示

- ・タイトル等を「レガシーってなあに？」のように工夫して作成・掲示する。
- ・掲示した資料の内容について、朝会講話で話をしたり、ホームページで紹介したりすることで、校内だけの情報に留まらせないようにする。
- ・両大会にまつわるイベントや行事などに、掲示内容を合わせる。



4 おすすめのポイント

- 学校のあゆみや授業、両大会の様々な情報の掲示をすることにより、学校の歴史や両大会についての理解が深まる。また、多くの人の目に触れられるようにしたことで地域の一体感が醸成される。
- オリンピック開催に合わせて、図書室前の廊下にもオリンピックコーナーを作り、取り上げることで、児童の意欲や関心がより高まる。
- 関連する取組等をホームページでも紹介することで、成果や効果が高まる。



【図書室前のコーナー】